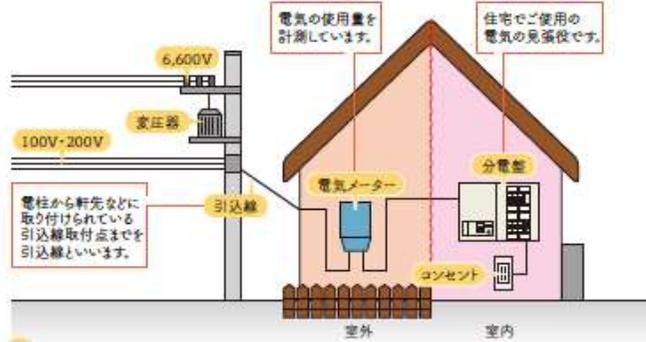


従業員の皆さんへ

今年の夏は、春先から猛暑が予想されていた通り7月中旬以降連日38℃を超える猛暑日が、続いています。こうした中、暑さのため体調を崩される方、救急搬送される方も、増えてきています。ここ例年の事ですが、我慢・無理をせず適切な冷房機器を使用して体調管理をお願いします。今月の「衛生委員会通信」は、感電死傷事故が発生しやすい8月に経済産業省主唱で、電気事故の未然防止を目的に行われている「電気使用安全月間」から「暮らしと電気」について考えたいと思います。

家庭への電気の流れ

と安全に電気を使うための安全装置が取り付けられています。電柱の一番上の線は通常高圧(6,600V)で送電されており、この線から変圧器を通りご家庭へ送られています。一度、分電盤が家のどこにあるか、確認してみてください。

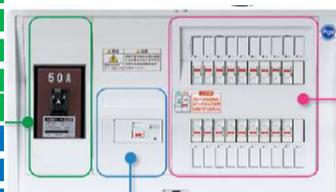


分電盤の役割

家庭に送られてきた電気は、分電盤を通して各部屋に届けられます。分電盤には、漏電遮断器(漏電ブレーカー)が取り付けられており、電気の安全をしっかりガードしています。もしもの場合に備えて分電盤がどこにあるのか確かめておきましょう。また、分電盤の前には物を置かないようにしましょう。分電盤には一般的に写真の通りの二つのパターン(電流性限器あり・なし)があります。

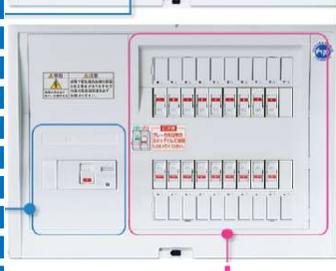
電流制限器

容量以上の電気が流れると自動的に電気が止まる仕組みになっています。



漏電遮断器(漏電ブレーカー)

感電や火災の原因となる漏電を素早く検知し、自動的に電気を止め、電気事故を未然に防ぎます。過電流に対応しているものもあります。長期間使用していると、経年劣化などにより正しく作動しなくなることもあります。ご家庭で定期的にテストボタン(灰色または赤色)を押して確認するようにしましょう。(テストボタンを押して正常に作動した場合は家全体が停電となりますのでご注意ください)テストボタンを押しても作動しない場合は、お近くの電気工事店へご相談ください。なお、取替の目安は15年程度です。また、単相3線式(100V/200V使用可能)の配線には、「中性線欠相保護機能付き漏電遮断器」をおすすめします。



配線用遮断器(安全ブレーカー)

電気の行き先(回路)ごとに配線用遮断器がついています。配線が過熱するのを防ぐため、コードがショート(短絡)したり、決められた容量を超える電気が流れ続けると自動的に電気を止めます。例えば電気炊飯器とホットプレートと同時に使用すると26Aとなり、配線用遮断器の容量20Aを超えるため、配線用遮断器が作動して電気を止めます。エアコン、衣類乾燥機などの電気を多く使う機器は、専用回路にすることをお勧めします。

自然災害時の電気

自然災害発生時には停電の可能性が高くなります。皆さん一人ひとりが日頃から「自分の安全は、自分で守る」心構えをしておくことで、いざというときにも慌てずにすみます。

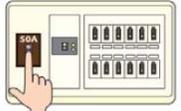
あっ地震！グラッときたときは

スイッチを切って、プラグを抜いて

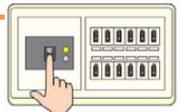
地震の時は火災に注意。アイロン、ドライヤー、ストーブなどの熱を出す機器を使っている時はプラグをコンセントから抜きましょう。

電流制限器か漏電遮断器を「切」にして避難

地震で一旦(もしくは一度)停電になっても、送配電事業者の設備に問題がなければ、送られてきます。自宅を離れ避難するときは、電気の消し忘れなどによる事故(通電火災)を防ぐために、分電盤の安全をチェックしましょう。ガス漏れの恐れがあるときには、電気を使用しないようにしましょう。



電流制限器



漏電遮断器

日頃の備え

- ・日頃から、懐中電灯(手動発電式のものもあります)や携帯ラジオ、防災リュックなどを用意しておきましょう。また、電気の契約先(小売電気事業者)や電気工事店の連絡先を確認しておきましょう。
- ・モバイルバッテリーの手動発電機等、携帯電話やスマートフォンなどを充電できる装置を用意しておく、いざという時に役立ちます。
- ・停電によるパソコンのデータ消失などを防ぐには、UPS(無停電電源装置)などの設置をおすすめします。
- ・避難するときに持ち出すべきものを避難の妨げにならないようコンパクトにまとめ、持ち出しやすい場所に置いておきましょう。また定期的に中身をチェックしましょう。

ピカッ、ゴロゴロ雷だ！

プラグを抜いて！

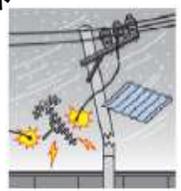
落雷による影響で、電気機器が壊れたり、火災が発生することがあります。近くで大きな雷が鳴ったら、電気機器のプラグはコンセントから抜き、電話線もモジュラージャックから抜くようにしましょう。なお、雷に対応した分電盤もあります。避雷器が内蔵されている分電盤は、電源線、アース線より侵入する雷から、家庭の電気機器を守ってくれます。



台風・暴風雨に備えて

飛来物防止のために屋外設備等をしっかりチェック

強風でアンテナやトタン屋根、自転車等のカバー、ハウス等のビニールシートなどが飛ばされ、電線・電柱にかかると、断線や電柱倒壊等を引き起こし、長期停電の原因になります。台風などによる強風に備え、あらかじめ屋外に設置されているものはしっかりと固定することを心掛けましょう。また、台風による浸水などで屋内配線や電気機器が水に浸ってしまった場合は、使用前に必ず電気工事店などにご相談ください。



切れた電線には絶対に触らないで！

送配電事業者へすぐご連絡を

垂れ下がった電線に触ると感電する恐れがあります。切れた電線には絶対に触らないでください。また、樹木や看板、アンテナなどに電線が触れている場合も危険です。見つけた時には近づかないで、すぐお近くの送配電事業者へご連絡ください。



おうち時間で電気の清掃・点検をしよう！ 清掃編

1 エアコンのフィルターは月に1,2回は掃除をして、室外機まわりをキレイに!

フィルターはほこりなどが詰まると性能をフルに発揮しにくくなります。掃除をして、効率よく室内を冷やしましょう。また、室外機の近くに物があるとエアコンの効きが悪くなります。何か物を置いていないかチェックしましょう。

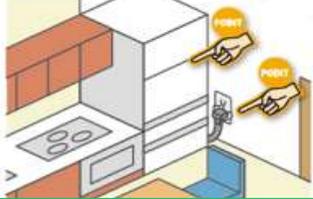


2 トラッキング現象に注意!

プラグを差したまま、ずっと使用していると、プラグとコンセントの間にホコリがたまり、それに湿気が加わると火災の原因となります。ときどきプラグを抜いて、乾いた布などできれいに掃除することが大切です。

3 冷蔵庫は詰め込み過ぎず、整理整頓を!

冷気の通り道があるとよく冷えます。詰め込み過ぎないように整理と並べましょう。



4 照明器具の清掃をしましょう!

照明の傘やカバーが汚れると明るさが低下します。



5 テレビ画面をキレイに掃除することで明るさを抑えて使用!

明るすぎる設定はもったいない。画面の掃除もお忘れなく。



1 コードの上に物を置かない!

断線やショート、漏電が起こり、火災につながる恐れがあります。



2 電気製品にはアース線を!

感電の危険を小さくするため、洗濯機・冷蔵庫・電子レンジなど湿気のある場所で使うものには必ずアースをつけましょう。



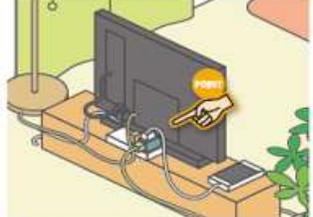
3 プラグはしっかり差し込みましょう!

中途半端な差し込み方では過熱・発火の恐れがあります。



4 タコ足配線は危険です!

コンセントに決められている以上の電気製品をつなぐと過熱・発火の恐れがあります。



5 トイレの設定温度や使用モードをチェック!

季節や使用頻度に合わせてこまめに調節しましょう。



6 長く使わない時はプラグをコンセントから抜きましょう!

待機電力を節約できます。旅行時などは必ずチェックしましょう!



点検

そうじも点検も定期的に行うといいね!

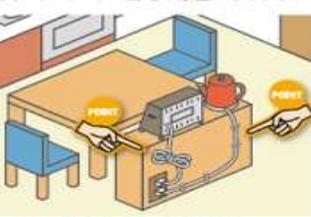


7 コードは束ねて使わないで!

コードを束ねて使うと過熱・発火の恐れがあります。

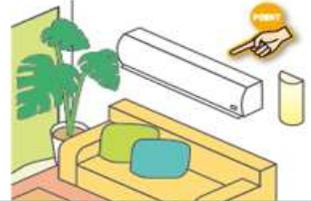
8 コードを固定するのはやめましょう!

コードを壁や柱にステップルなどで打ち付けて使うと、コードが断線したり、被覆に傷が入ってショートや漏電の原因になります。



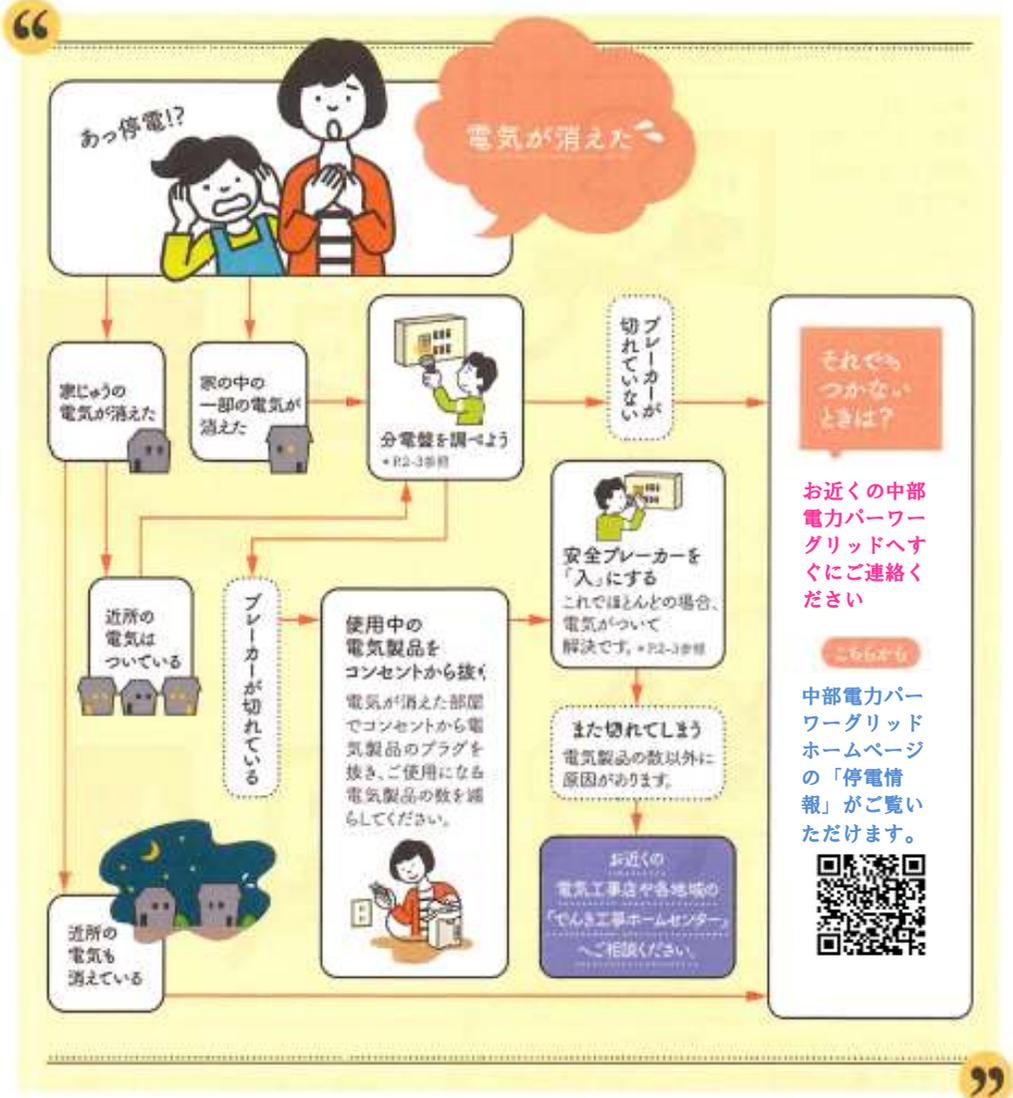
9 エアコンの温度設定は控えめに!

エアコンは、夏は28℃、冬は20℃を目安に設定しましょう。



家の電気が消えた時の対処法

停電時には、固定電話・IP電話は、一部を除き、基本的に利用できなくなります。万が一に備え、携帯電話等の代替手段をご用意ください。また、予備電源(市販バッテリーやUPS(無停電電源装置))を備える方法もあります。



電気に関するお問い合わせ、これからは「スマホ」で。「アプリ」で。すぐに「チャット」で。

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

停電情報お知らせサービス

※ご利用可能なiPhoneのバージョンはiOS10以上となります。

※ご利用可能なAndroid™のバージョンはAndroid™ 6.0以上となります。

夏場は、急な雷や落雷、台風・暴風雨等で停電になることも多く、皆さんの生活に影響を及ぼす事もあると思います。最後に、まだまだ暑い日が続きます、適切なエアコンの利用、水分・塩分の補給、バランスの良い食事の摂取と睡眠確保でこの夏を健康に乗り超えましょう!